

令和元年度（第1回）射水市社会教育委員会議 会議概要

開催日時

令和元年7月1日（月）午後2時00分～午後3時40分

開催場所

射水市役所本庁舎会議室306

出席委員

成田廣昭委員、澤井達司委員、沖和美委員、宮垣純吉委員、小井孝子委員
高田大介委員、島倉松雄委員、鈴木敬子委員、大辻陽子委員
(委員10名中9名出席)

事務局

長井忍教育長、松長勝弘事務局長、宮本康博副参事兼生涯学習・スポーツ課長、
菅原剛史学校教育課長、安元啓二生涯学習・スポーツ課長補佐、藤岡美乃里生涯学習
係長、土橋尚久主任

会議概要

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委嘱状交付・委員紹介
- 4 委員長・副委員長の選出
- 5 報告・協議事項
 - (1) 令和元年度射水市教育委員会機構・主要事業について
 - (2) 射水市中央公民館の施設機能の転用について
 - (3) 生涯学習センターの交流機能の移転について
 - (4) 放課後児童クラブ安全対策事業について
 - (5) いみず親学びスクールについて
 - (6) あったか家族応援プロジェクトについて
 - (7) 親子で学ぶ論語塾について
 - (8) 第48回富山県社会教育大会及び第50回東海北陸社会教育研究大会について
- 6 その他
参考資料の説明
- 7 閉会

配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 令和元年度射水市教育委員会機構・主要事業について
- ・ 資料2 射水市中央公民館の施設機能の転用について
- ・ 資料3 生涯学習センターの交流機能の移転について
- ・ 資料4 放課後児童クラブ安全対策事業について
- ・ 資料5 いみず親学びスクールについて
- ・ 資料6 あったか家族応援プロジェクトについて

- ・資料 7 親子で学ぶ論語塾について
- ・資料 8 第 48 回富山県社会教育大会及び第 50 回東海北陸社会教育研究大会について
- ・参考資料 1 社会教育委員とは
- ・参考資料 2 射水市社会教育委員名簿
- ・その他 射水市新湊博物館 企画展「夜空を見上げて - 古墳時代から江戸時代まで - 」

質 疑 ・ 発 言

(1) 令和元年度射水市教育委員会機構・主要事業について

Q 本市の不登校やひきこもりの状況について【委員】

A 若干増加傾向にある。教育に関する事務の事業点検評価の項目であり、現在取りまとめており、8月ごろには公表できる見込みである。専門アドバイザーへの相談や、ICTを活用した支援など対応をすすめている。【事務局】

Q 外国人の子どもの支援について【委員】

A 本市は、県内でも外国人の方の比率が高い。5月1日時点で、小学校では129名、中学校では61名の外国人の子どもが在籍している。国籍は多種多様である。一番大きな問題は、言葉の問題であり、相談員を配置するなど、受け入れ体制づくりを行っている。【事務局】

Q 学校に行っていない外国人について【委員】

A 小学生では、152名中129名が学校に在籍しており、中学生では、83名中61名が学校に在籍している。外国籍の方は就学義務がないため、学校に在籍していない子どももいる。【事務局】

転入手続きの時は、外国の方にも日本人と同様に就学の案内をしている。学校に在籍していない子どもは、1,2ヶ月で本国に帰る、短期在留がほとんどと聞いている。【事務局】

Q 射水市には、ブラジル人富山会のような、外国人の団体はあるのか？あれば、その団体と情報や課題を共有できるのではないか。【委員】

A そのような団体の有無については、把握していない。【事務局】

Q 外国人も含め皆が心地よくすごせることが重要だと思う。外国人も地域の人もそれぞれに困り感がある。その助け合いができればよいと思うが？【委員】

A 外国人の受け入れやひきこもりの対応などについては、市民サービスにおいて、福祉、医療、教育など複合的な問題である。現在、それぞれの部署が連携し、横断的な取組みを少しずつ進めているところである。地域の方々とも協力して施策を進めたい。【事務局】

その他意見

・コミュニティセンターが、ひきこもりの方や外国人の方、生活困窮者などが気軽に立ち寄り、いろいろな情報を得られる窓口になればいいと考えている。地域の現状が見える化でき、正確な情報が得られる様になればよい。行政や地域の支援というこ

とでいえば、青年層の対応が不足しているのではないか。子どもから老人まで連続した支援が重要である。【委員】

・様々な国籍の方が住んでおり、多国籍化している為、地域としても対応が難しい。

【委員】

・小学校の就学前の相談会でも、近年多国籍化が進んでいる事を感じる。【委員】

・外国人家庭のうち、親は母国語しか話すことができず、学校に行っている子どもが一番日本語が話せる場合が多い。子どもが地域や社会と繋がる鍵になっていることがある。また、外国人の子どもが高校へ進学する時に、経済的な面や親の理解などで、壁になることがあるように思われる。【委員】

(2) 射水市中央公民館の施設機能の転用について

Q 稼働率など、機能転用後の見通しは？【委員】

A 現在の稼働率は約6%で、他の文化施設と比べても低い状況である。他の文化施設と同程度の稼働率になるよう、既存の生涯学習機能は維持しつつ、施設の使い勝手を向上し、改善していきたい。【事務局】

(3) 生涯学習センターの交流機能の移転について

Q 移転後の施設の利用料金はどうなるのか？【委員】

A 料金は担当課で検討中である。【事務局】

平成31年4月から市内公共施設の料金の見直しを行っている。新しい料金は、施設の維持管理費、稼働率などを総合的に勘案し、一律の計算方法で算出されている。新しい施設についても同様の考え方が反映されるものである。【事務局】

Q 新しい施設（旧小杉社会福祉会館）の名称はどうなるのか？【委員】

A 現在、「（仮称）市民交流プラザ」という名称であり、ネーミングライツパートナーを募集している。9月に正式発表される予定である。【事務局】

(4) 放課後児童クラブ安全対策事業について

特に意見なし

(5) いみず親学びスクールについて

特に意見なし

(6) あったか家族応援プロジェクトについて

特に意見なし

(7) 親子で学ぶ論語塾について

特に意見なし

(8) 第48回富山県社会教育大会及び第50回東海北陸社会教育研究大会について

特に意見なし